

県安管協会ニュース

(一社)宮城県安全運転管理者協会・宮城県安全運転事業主会連合会

令和2年1月

№11

Tel022-361-0313

fax022-362-3801

e-mail

info@kenankan.or.jp

【交通事故情勢】

県警の発表によると、昨年、県内で発生した交通事故による死者数は65人と、前年より9人増加しました。一方、発生件数は前年より1,140件減少の5,675件にとどまり43年ぶりに6,000件を下回ったそうです。死者65人の内訳は、自動車32人、二輪車9人、自転車5人、歩行者19人でした。自動車と二輪車の死亡事故のうち、正面衝突や路外工作物に衝突するなど、自車線から逸脱したことが原因とみられる事故が全体の半数以上を占める35人だったそうです。安全運転管理者選任事業所におきましても、自車線逸脱による事故によって5人の方が亡くなられています。また、今年に入り令和2年1月9日、名取市愛島の県道において正面衝突による死亡事故が発生しました。このような交通事故を防止することが急務と考えますので、当面の安全運転管理の重点に据えていただきたいと思います。

【自車線逸脱事故を防止するために】

● 直線部と左カーブで多発

- 正面衝突による死亡事故の80%近くは「非市街地」で発生しており、そのうちの半数近くが「直線道路」、40%以上が「左カーブ」で発生しています。
- スピードを上げた無理な追い越しによる事故は少なく、時速60キロ以下で多く発生しています。
- 第1当事者の「前方不注意」、「操作不適」が大半を占めています。
- 直線道路を漫然と走行中に対向車の直前で対向車線にはみ出して衝突するケースが多いです。
- 左カーブを曲がりきれず対向車線にはみ出して対向車または路外工作物に衝突するケースが多いです。

● 直線道路では注意力低下を防ぐ工夫を

- 単調な運転による注意力低下するために、ガムを噛んだり、小休止して体操するなど注意力低下を防ぐ工夫をする。
- カーブ先に対向車が現れても慌てないようにカーブの手前で減速し安全に通行できる速度で走行する。

考 察

近年、正面衝突や路外工作物に衝突する死亡事故が異常に増えたと感じています。以前は、正面衝突と言えば、5月から7月8月にかけて風光明媚な海岸線において、観光客による事故が多かったと記憶しています。ところが近年は時期を選ばずに発生していることがやっかいです。防止対策として上記のようなことが言われていますが、「前方不注意」や「操作不適」を生み出す原因を排除することが肝要だと思います。統計には表れませんが、「居眠り」や「ながら運転」がその背景にあるのではないのでしょうか。寝不足のまま交通閑散な道路を走行するときは特に注意が必要です。自然とスピードが出てしまいカーブを曲がりきれなかったり、暗がりの歩行者も見落としてしまいます。また、スマホに気をとられて、とっさの対応ができず対向車線にはみ出してしまうことが考えられます。バイクはスピードを出し過ぎて自車を適切にコントロールできなくなり対向車線にはみ出したり、路外に放り出される。このような原因を知っていれば、この種の事故は防げると考えます。(筆者)